

2026年1月27日

各 位

会社名 株式会社伊藤園  
代表者名 代表取締役社長 本庄 大介  
(コード番号2593 東証プライム)  
問合せ先 取締役管理本部長 平田 篤  
電話番号 03-5371-7197

## 減損損失の計上及び業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月期第3四半期において、当社の自動販売機事業における固定資産について減損損失を計上するとともに2025年6月2日に公表しました2026年4月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 減損損失の計上について

当社は従来、減損会計の適用にあたり、主にエリアごとに資産をグルーピングし、賃貸用資産については個々の物件を基本単位としてグルーピングしてまいりました。しかしこのたび、当社が「自動販売機事業」を完全子会社であるネオス株式会社に承継させることに伴い、減損会計上のグルーピングを見直し、従来は会社全体で一つの事業として認識していた区分を「自動販売機事業」と「その他事業」に分け、エリアごとにそれぞれグルーピングすることとしました。

「自動販売機事業」については、原材料費・物流費・人件費などのコスト上昇が続く一方で販売数量が低下しており、経営環境が著しく悪化していると認められました。これにより減損の兆候があると確認されたため、減損損失の認識の判定および測定を行った結果、2026年4月期第3四半期に当該事業の資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、11,827百万円を減損損失として計上する見込みとなりました。なお、ネオス株式会社において計上する減損損失と合わせて、連結では、13,594百万円を計上する見込みとなりました。

### 2. 2026年4月期 通期連結業績予想について

(2025年5月1日～2026年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(普通株式)
前回発表予想 (A)	百万円 490,000	百万円 25,500	百万円 25,700	百万円 16,000	円 銭 135.72
今回修正予想 (B)	495,000	20,000	21,000	1,000	5.46
増減額 (B - A)	5,000	△5,500	△4,700	△15,000	
増減率 (%)	1.0	△21.6	△18.3	△93.8	
(ご参考) 前期実績 (2025年4月期)	472,716	22,969	22,973	14,156	117.50

※第1種優先株式に係る1株当たり当期純利益

前回発表予想 147.72 円

修正値 17.48 円 (ご参考) 前期実績 (2025年4月期) 129.46 円

### 3. 通期連結業績予想の修正の理由

飲料業界におきましては、原材料をはじめとする各種コストの上昇が継続する中、消費者の節約志向は依然として強く、厳しい経営環境が続いております。当社グループでは、主要原材料のうち特に緑茶原料に関する調達価格が当初想定を上回っており、在庫の活用やオペレーションの効率化による生産性の向上といった様々な企業努力を積み重ねてまいりましたが、自助努力での吸収は難しく、2025年10月より一部の飲料製品とリーフ製品の価格改定を実施いたしました。しかしながら、価格改定の効果はあったものの、競争激化に伴うリベート等の増加や広告宣伝費の先行投資、上記に記載しました減損損失を計上することに伴い、2026年4月期の業績は2025年6月2日公表の予想を下回る見込みであります。

### 4. 2026年4月期 通期個別業績予想について

(2025年5月1日～2026年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (普通株式)
前回発表予想 (A)	百万円 342,400	百万円 17,000	百万円 19,350	百万円 13,500	円 銭 114.01
今回修正予想 (B)	343,000	11,000	14,000	400	0.25
増減額 (B - A)	600	△6,000	△5,350	△13,100	
増減率 (%)	0.2	△35.3	△27.6	△97.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年4月期)	334,800	14,902	16,489	11,667	96.28

※第1種優先株式に係る1株当たり当期純利益

前回発表予想 126.01円

修正値 12.27円 (ご参考) 前期実績 (2025年4月期) 108.25円

### 5. 通期個別業績予想の修正の理由

#### 3. 通期連結業績予想の修正の理由に記載のとおりであります。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上